

経費所要額調書

記入例

事業所名

〇〇〇

【埼玉県介護ロボット普及促進事業費等補助金】

利用定員数 (A)	補助対象限度台数 (A)×(1/10) (B)
100	10

・1台(1セット)あたりの価格を記入
・税抜き金額
・1,000円未満切捨てはしない。

見守り機器の基準額(1台あたり30万円)が、見守り機器と通信環境整備費の合計額の最大値となる。

機器名	1台あたりの所要経費 (機器購入価格) (C) 円	1台あたりの基礎額 (C)×3/4 (1,000円未満切捨て) (D) 円	1台あたりの補助金 基準額 (E) 円	1台あたりの申請額 ※(D)と(E)の いずれか低い額 (F) 円	導入台数 (G) 台	補助金申請額 (F)×(G) (H) 円
見守りセンサー〇〇 (例:1機器あたり150,000円) Wi-Fi工事 (例:工事費合計3,000,000円)	450,000	337,000	300,000	300,000	10	3,000,000
<p>見積額合計を、1台あたりの金額に換算する。 (今回の例では、見守り15万円+wifi300万円÷10台=45万円となるので、「450,000」と記入)</p>						
合計		337,000	300,000	300,000	10	3,000,000

- ※ 1 上記金額は、税抜き
- 2 (B)欄は、利用定員数を10で除した数とし、1台未満の端数を切上げ
- 3 (D)欄は、1,000円未満切捨て
- 4 (E)欄は、交付要綱第4条で定める基準額(30万円もしくは100万円)を記入
- 5 (G)欄合計が、(B)欄を超えないこと

交付申請書(様式第1号)の交付申請額と一致